



木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2019年12月8日(日) 9:30~12:00(晴)

参加者 一般:4名(うち子ども0名)、

指導員:6名

テーマ 「冬の林で野鳥を探そう！」

この時期定番の冬鳥を中心とした野鳥の観察です。

まずは、ちょっと変わったところで冬鳥として飛来するオオダイサギ(ダイサギの亜種で一回り大きく、いっしょにいると差がはっきり分かります。)を探しに川原に向かいましたが、残念ながら姿は見られませんでした。しばらくして上空を白いサギが飛びましたが、ダイサギかオオダイサギか区別はつきませんでした。

先月見つけたキツネの巣穴ですが、もう重機を使って埋められていました。毎年このことながら、堤防に掘られているわけでもないのに埋める必要があるかどうか疑問です。

毎年この巣穴のある付近ではツグミやシメの群をよく見かけます。この日も堤防道路に上がったところでツグミの群が飛来しました。また、葉が残るエノキの枝に止まったので、じっくり観察というわけにはいきませんでした。その後、大野極楽寺公園では葉の落ちたイチョウの木に止まっているツグミに出会い、こちらではしっかり観察できました。ツグミは年によって飛来する数が変化しますが、今季は結構よく見られる感じです。

その辺りの草原ではアオシガが見られるかと期待しましたが、鳴き声も聞かれませんでした。

さて、大野極楽寺公園ではアカネ属のトンボ数頭がまだ池の上を飛んでいました。今年はすいぶん遅くまで見られていますが、アキアカネかマユタテアカネだろうと思われます。(11月30日の下見の時にはマユタテアカネが確認できました。)草地ではキタキチョウ、キタテハ、ウラギンシジミが見られました。成虫で越冬するチョウなので、暖かな陽射しに誘われて動き回っていたものでしょう。

ところで、先月、138タワーの東側で見たイチゴノキ(ツツジ科)ですが、釣り鐘型の小さな花をたくさんつけている脇で、昨年結実した実が赤く熟していました。表面に小さな粒がたくさんあって、ちょっと見たところではヤマモモの実に似た感じで美味しそうです。ここは公園でいろいろな樹が植えられており、その隣ではヒメリンゴ(別名クラブアップル、品種名スイートアイリス)が赤いリンゴ型の小さな実をつけていました。さらにその隣では常緑のヤマボウシ(ヒマラヤマボウシか?)が蕾をつけていました。この時期の蕾はいつ花を咲かせるのか興味津々です。(報告:齋竹)

<その他観察できたもの>

鳥:アオサギ、カワウ、キジバト、ヒヨドリ、モズ、ジョビタキ、シメ、トビ、オオタカ、ハクセキレイ、セグロセキレイ(声)、シロハラ(声)、シジュウカラ(声)、エナガ、メジロ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス(声)、ウグイス(声)

昆虫:ヤマトシジミ



(梢に止まっているアオサギを観察)



この時期よく見かけるツグミ



陽だまりのウラギンシジミ



美味しそうなイチゴノキの実



クラブアップルの小さな実